

## 正負の数の加法減法導入

名前

/13 点

1 次の( )に適切な数、語句を書きなさい。

- ① たし算のことを( )、ひき算のことを( )という。
- ② かけ算のことを( )、わり算のことを( )という。
- ③ たし算の答えを( )、ひき算の答えを( )という。
- ④ かけ算の答えを( )、わり算の答えを( )という。
- ⑤ 2つの数 $\circ$ と $\times$ について  $\circ + \times = \times + \circ$  が成り立つことを加法の( )という。
- ⑥ 3つの数、 $\circ$ 、 $\times$ 、 $\triangle$ について  $(\circ + \times) + \triangle = \circ + (\times + \triangle)$  が成り立つことを加法の( )という。

2 次の問いに答えなさい。

- ①  $-5$  より  $2$  大きい数を求めなさい。
- ②  $-3$  より  $10$  大きい数を求めなさい。
- ③  $2$  より  $5$  小さい数を求めなさい。
- ④  $-7$  より  $7$  小さい数を求めなさい。
- ⑤  $-6$  より  $3$  小さい数を求めなさい。

3 次の( )に適切な数、語句を書きなさい。

- ① 同符号の2つの数の和は( )の和に共通の符号をつける。
- ② 正の数、負の数を引くことは、その数の( )を変えて加えることと同じである。

## 解答

1 次の( )に適切な数、語句を書きなさい。

- ① たし算のことを( **加法** )、ひき算のことを( **減法** )という。
- ② かけ算のことを( **乗法** )、わり算のことを( **除法** )という。
- ③ たし算の答えを( **和** )、ひき算の答えを( **差** )という。
- ④ かけ算の答えを( **積** )、わり算の答えを( **商** )という。
- ⑤ 2つの数 $\circ$ と $\times$ について  $\circ + \times = \times + \circ$  が成り立つことを加法の( **交換法則** )という。
- ⑥ 3つの数、 $\circ$ 、 $\times$ 、 $\triangle$ について  $(\circ + \times) + \triangle = \circ + (\times + \triangle)$  が成り立つことを加法の( **結合法則** )という。

2 次の問いに答えなさい。

**\* 数直線を使って考えてみましょう**

- ① -5 より 2 大きい数を求めなさい。 **-3**
- ② -3 より 10 大きい数を求めなさい。 **7**
- ③ 2 より 5 小さい数を求めなさい。 **-3**
- ④ -7 より 7 小さい数を求めなさい。 **-14**
- ⑤ -6 より 3 小さい数を求めなさい。 **-9**

3 次の( )に適切な数、語句を書きなさい。

- ① 同符号の2つの数の和は( **絶対値** )の和に共通の符号をつける。
- ② 正の数、負の数を引くことは、その数の( **符号** )を変えて加えることと同じである。